

平成19年度春季全国大会

インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

— 申込みはインターネット(J-STAGE)による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

平成15年度秋季大会より、J-STAGE（科学技術振興機構）を利用して、インターネットによる講演申込受付及びPDFファイル形式による原稿の提出受付を開始することにいたしました。申込については、本会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jws/index.html> からお申し込み下さい。なお、申込及び原稿提出は、J-STAGE 利用のみとなりますのでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、英文）、講演プログラム校正の電子化（試行）、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用の試行等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認下さい。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が各2週間程度に限定されておりますのでご注意ください。

申込受付期間：12月13日 12:00～1月11日 14:00，

原稿提出期間：2月1日 12:00～2月20日 14:00

PDF原稿を作成するに際しては、PDFをプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下

さい。

なお、講演概要はJ-STAGEにて公開されますので、公開を希望されない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事務局まで申し出て下さい。

（注意事項）

- ①上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますとJ-STAGEの利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。
- ②原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、3MBです。PDFファイル作成のためには、PDFファイル作成専用ソフトAdobe Acrobat（4.0以上のバージョン）をご利用下さい。無料配布ソフトAdobe ReaderではPDFファイル作成ができませんので、ご注意下さい。
- ③PDF原稿提出時に申込時の受付番号とパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。



平成19年度春季全国大会「研究発表」講演募集

— インターネット(J-STAGE)による講演申込のみになります。御協力下さい。—

概要集原稿の締切は皆様のご要望により事務処理期間を大幅に短縮し、申込締切と分離して大会2か月前とすることにいたしました。

従いまして、申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください。



平成19年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

開催期日 平成19年4月18日(水)、19日(木)、20日(金)

開催場所 日本教育会館(東京)

—講演申込募集—

1. 申込期間：平成18年12月13日(水) 12:00～
1月11日(木) 14:00
2. 申込資格：申込者は正員であること。連名の場合、講演者は正員(学生員も認める)でなければなりません。

3. 申込方法：前記学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。

◎講演登録料：1件について4,000円をご納入ください。送金は現金書留郵便でお願いいたします。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

※大会参加費（会員2,000円、非会員4,000円、学生無料）は大会当日別途申し受けますのでご注意ください。なお、講演概要集（5,000円）は別売となります。

※受付済通知：J-STAGEより受付番号が発行されますのでパスワードとともに保管しておいて下さい。

4. 原稿（PDF）提出期間：平成19年2月1日（木）
12：00～2月20日（木）14：00

5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。

6. 発表時間：講演10分、討論5分

7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。

8. 講演申込の取り消しについて

講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

9. 付帯器具の申込み：講演に必要な器具（フィルム映写機、VTR等）は遅くとも大会1カ月前までにお申出ください。大会直前に申し出られましても準備できかねる場合があります。同様器具を持ち込まれる場合も事前にお申出ください。会場の都合で設営できない場合があります。OHP及びPC用液晶プロジェクタは常備します。なお、操作は講演者側でお願いします。

10. 講演登録料送付先：

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11

溶接学会 全国大会係

電話 (03) 3253-0488

※受付番号を同封して下さい。

※PDF（原稿）作成の場合は、事前に解像度を確認してください。

溶接学会全国大会講演分類

分類記号 ・番号	内 容	備 考	分類記号 ・番号	内 容	備 考
I	溶接プロセス (含機器)		7 8 9 10 11	新材料接合部の諸特性 セラミックス 複合材料 機能材料 高分子材料 その他：新素材開発	
	1 溶融溶接(1)：アーク溶接，ガス溶接				
	2 溶融溶接(2)：高エネルギービーム溶接				
	溶接技術の新しい展開				
	3 新溶接技術				
	4 新熱源開発，同応用				
5 加工技術		1 2 3 4 5 6 7 8 9	溶接・接合部の強度・破壊と設計 溶接・接合部の応力 溶接・接合部の静的強度 破壊靱性，き裂（発生，進展） 疲労強度，疲労き裂 環境強度，クリープ 溶接・接合設計（強度計算など） 信頼性，安全性評価 劣化診断，寿命予測 その他		
6 その他					
II	制御・システム工学，溶接・接合技術の 各産業分野への展開				
	1 センサー，モニタ，計測技術				
	2 インプロセス制御技術，品質制御技術				
	3 ロボット工学・技術				
	4 自動化，システム化技術				
	5 CAD, CAM, FA				
	6 製品開発				
	7 生産，製造，施工，組立など				
	8 その他：新技術，新システムなど				
	品質保証，施工管理				
	9 品質保証，工程設計など				
	10 安全・衛生，教育，訓練				
11 非破壊検査，同機器		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	圧接，ろう接プロセス 圧接(1)：抵抗溶接 圧接(2)：摩擦，超音波，爆接 固相接合，拡散接合 接着，ウエルドボンド ろう接：ろう付，はんだ付 マイクロ接合 機械的接合：リベット，ボルト継手など その他：新接合技術 表面改質及び熱加工プロセス (含機器) 成膜(1)：肉盛，溶射，めっき 成膜(2)：PVD, CVD, イオンミキシング 成形：焼結，HIP，鑄ぐるみなど 切断，ガウジング，穴あけ加工など その他：焼き入れ，グレージング，封孔処 理，新加工技術など		
12 その他：生産設備など					
III	金属材料の溶接・接合部，表面改質部の特性 (含鋼材，溶接材料など)				
	1 溶接・接合部，表面改質部の物理化学				
	2 溶接・接合部，表面改質部の組織及び機械的 性質				
	3 耐食性，耐環境性				
	4 低温割れ，高温割れ，応力腐食割れなど				
	5 気孔，スラグ巻き込みなどの欠陥				
6 その他					

全国大会講演概要原稿執筆要領 (講演番号をご記入ください)

— PDF 原稿のみとなります。 —

概要原稿 (テンプレート) が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版 (約 2/3) に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会所定 (又は、指定フォーマット) のものに限ります。

1 ページ目は、題目、勤務先 (研究場所)、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙 (A) を使用してください。

2. 原稿の長さ

題目 (和英両文)、勤務先、著者名 (和英両文)、キーワード (和英両文) 本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚 (A, B) にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40 字 × 37 行 × 2 枚 = 2,960 字 (タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字) です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード、講演番号

原稿用紙 (A) の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

(副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いないように記載して下さい)

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労

Keywords: arc, plasma, physics

PDF ファイルを作成する場合は、講演番号 (受付番号ではありません) をご記入ください。講演番号は大会プログラム最終校正画面 (<http://www.jpp.co.jp/yosetu>) にてご確認ください。

ロ. 本文

原稿用紙 (A) 12 行目から (B) いっぱいに原稿用紙のコマに合わせて黒色で書いてください。また、タイプライター、ワープロ使用の場合、用紙の枠いっぱいにコマ数 (40 字 × 37 行) だけ打ってください。(全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません)

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約 2/3 に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意願います。

大体、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります。

ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺 (約 2/3) を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んでも結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意願います。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが 2/3 になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明 (Caption) は英文で書いてください。(写真は Photo でなく Fig. としてください)

4. 校正

校正は (著者、編集者とも) いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

5. 原稿の提出

提出期間内に PDF (原稿) を J-STAGE に (学会ホームページより) アップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

〔原稿見本〕

()

プラズマ溶接の研究

12pt, 明朝体

↑
講演番号 16pt, 半角
ゴシック
(発表者で記入)

10.5pt 日本工科大学 ○秋山 冬彦
世界電機(株) 夏川 春樹

10.5pt

Study on Plasma Welding

10.5pt

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→

本研究は、プラズマジェットを用いる溶接法について……

10.5pt

↑
1～2字アケル



Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as “Preprint of the National Meeting of JWS”.

1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor.

5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note “Manuscript for the National Meeting” on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling.

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR
OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE
PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering
Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure with respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major factor of resistance because

stress fields are strongly dependent on the constraint condition. Toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

平成19年度全国大会講演申込手順

〔講演申込手順〕

1. 申し込みは、学会ホームページのお知らせにある大会講演申込の案内にある「講演申込」をクリックして下さい。講演申し込み画面が表示されます。
2. 申し込み画面では、「新規登録及」と「登録内容確認」が表示されています。最初は「新規登録」をクリックしてください。
入力の前に、新規登録及び登録内容確認についての説明が記載されておりますので必ずお読みいただき、操作上の注意事項を確認の上入力を開始してください。登録後に登録内容確認などを行うには受付番号と登録時に入力したパスワードがないと作業が行えませんので必ず保管下さい。当学会事務局では受付番号の確認はできますが、パスワードはわかりませんので、お問い合わせされる場合はご注意下さい。
3. 「登録票／件数入力」の画面では、まず、表記されている注意事項を先にお読みいただいてから入力を行って下さい。【必】のところは入力されないと次の画面へ進めません。入力する枠には半角の数字を入力下さい。入力が済みましたら「次へ」をクリックして下さい。演者数とその合計所属数及びキーワードを最初に入力します。この数字は次画面からの入力欄をいくつ

表示するかを指定するものです。

4. 「登録票／所属機関」の画面では、「件数入力」で入力した数字分の所属機関数が表記されます。この部分も【必】扱いですので、全項目省略しないで入力下さい。所属は、研究者すべての所属を入力します。公開時に日・英両方表示することができますので、希望される方は日本語、英語両方入力してください。
5. 「登録票／研究者情報」の画面では、「件数入力」で入力した数字分の研究者数が表記されます。
 - (1) 会員情報の「会員区分」ではプルダウンメニューから選択します。右にある下向き矢印をクリックして選択を行って下さい。
 - (2) 「所属」は「登録票／所属機関」で入力したものが表示されます。
選択されたものが誤っている場合は、「戻る」をクリックし、入力をしなおして下さい。
6. 「登録票／連絡者情報」の画面では、連絡者に関する情報を入力します。
氏名、所属は、前の画面で入力した情報が自動表示されます。前の画面で「その他」を選択した場合は、自動表示されませんので氏名、所属から入力してください。電子メールアドレスは、登録終了後、受付完了のメー

ルが送られてきますので、必ず入力していただきます。
メールアドレスは、J-STAGE から受付番号などをお知らせしますので間違えないように入力してください。
全項目入力できましたら **次へ** をクリックして下さい。

7. [登録票／演題情報] の画面では、演題情報を入力します。

「演題分類」をプルダウンメニューから選択して下さい。「発表形式」もプルダウンメニューから選択して下さい。「演題名」は講演原稿と同じものを入力して下さい。

パスワードは「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。全て入力が完了しましたら、**確認** をクリックして下さい。不安がある箇所があれば **戻る** をクリックして前画面にもどって確認下さい。

* 演題名、要旨についてはWeb画面で表示するための<タグ>が使用できます。<タグ>は、<I>、<SUP>、<SUB>、
を使用することができます。

8. **確認** をクリックすると、[登録票／登録票入力確認] の画面が表示されます。登録内容に誤りがないことを確認して **登録** ボタンを押して下さい。これですべての入力作業は終了です。
9. 正常に登録されました [登録票／登録完了] の画面が表示されます。この画面では受付番号が表示されます。受付番号はパスワードとともに、「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。

<補足説明>

- ・投稿情報は、公開される情報になることから、入力内容の確認画面では投稿者は十分な確認をしたのち「登録」をクリックしてください。
- ・登録が正常に行われましたら、J-STAGE から受付完了のメッセージが表示されます。6桁の受付番号も表示されますので、忘れないように控えておいてください。
注：変更処理等では、受付番号とパスワードを入力することになりますが、このときの受付番号は、先頭が0であっても6桁固定として入力してください。
- ・<タグ>を使用した場合の公開データの確認は、「登録内容確認」で表示イメージの確認により確認してください。
- ・登録締め切り後の変更はできませんので、締め切りまでに登録時の確認画面もしくは「登録内容確認」により必ず確認をしてください。
- ・登録締め切り直前（最終回）は、申込が殺到し入力しにくくなります。お早めに申込ください。

《画面構成》

1. 新規登録受付／工程選択（トップページ）
2. 登録票／言語選択
3. 登録票／件数入力
4. 登録票／所属機関
5. 登録票／研究者情報
6. 登録票／連絡者情報
7. 登録票／演題情報
8. 登録票／登録票入力確認
9. 登録票／登録完了



全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

下記により、「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF化）し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛にEメールにてご通知いたします。（**校正刷りの郵送はいたしません。**）万一事故等によりEメールが未着の場合にも、7月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン4.0以上（ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応）

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produks/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン3.0の方は4.0にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛FAX (03-3253-3059) にて送信ください。Eメールでの送信はご遠慮ください。

5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp

平成18年度秋季全国大会における液晶プロジェクターの 利用について

全国大会運営委員会

平成13年度溶接学会秋季全国大会より、液晶プロジェクターの利用を試行しておりますので、今秋季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守するとともに、トラブルがあった場合には、OHPシートによる発表に切り換えさせていただくことをご了承の上ご使用ください。なお、パソコン持参者のために切替器を準備しておりますので、併せてご利用ください。

記

全国大会運営委員会て準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ
- 2) パソコン（動画等を含むファイルを使用される場合には、ご自身のノートパソコンを使用されることを推奨します）
- 3) モニタ切替器

発表者の準備するもの

- 1) パワーポイントで作成した発表用のファイル
（ISO9660形式）
メディアはCD及びUSBメモリーとし、ファイル名は次のように付けておいてください。
講演番号+発表者氏名.ppt
- 2) OHPシート

※休憩時間の間に液晶プロジェクタに接続したパソコンに、発表者ご自身で発表用のパワーポイントファイルをコピーしていただきます。

※トラブルがあった場合には、OHPプロジェクターによる発表に切り換えさせていただきますので、OHPシートも必ず準備しておいてください。

平成19年度春季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：溶接冶金現象のその場観察の現状と課題

座 長：小溝裕一（大阪大学接合科学研究所）

篠崎賢二（広島大学大学院）

趣 旨：

溶接時の溶融池挙動，溶接中の凝固および変態，溶接割れ，ポロシティの発生など，様々な溶接冶金現象に関して，従来多くの研究がなされている．溶接冶金現象は，熱源の移動に伴う急激な温度変化過程を含むため，その現象が極めて短時間内で起こり，しかもアークやレーザーなどの熱源が冶金現象を起こす近傍に存在するため，その場観察方法が難しく，観察方法の確立さえも大きな研究課題となる．しかしながら，溶接冶金現象を可視化することにより，現象の理解が深まるのみならず，溶接冶金現象のメカニズムをさらに詳細に明らかにできる可能性があり，直接観察法は重要な実験手段と言えよう．

かつて，フィルムを用いた高速度カメラにより，溶接現象解明を行っていたが，多大の労力と時間を要していた．近年，デジタル技術，光学技術，画像解析技術などの発展により，鮮明な画像の取得とその解析が高精度で高速に行えるようになった．また，放射光などの新たな光源を利用した詳細な結晶解析が可能となってきた．これにより，従来，観察できなかった現象の観察も可能となり，新たな事実が出始め，現象解析の新たな分野が

開ける可能性が出てきた．

そこで，本フォーラムでは，溶接冶金現象のその場観察法の現状と今後に向けての課題などを互いに紹介し合い，新たな溶接冶金現象の解明に向けて，広範な見地から情報交換・意見交換を行う場としたい．

記

日 時：平成19年4月18日（水）～20日（金）

会 場：日本教育会館（東京）

申込方法：著者名，タイトル，概要（400字程度），連絡先を明記した上，メール（jws-ym@kt.rim.or.jp）またはファックス（03-3253-3059）で溶接学会事務局へお申し込み下さい．

申込締切日：平成18年10月31日（火）

講演採否：お申しいただいた講演の採否は直接申込者にお知らせ致します．

原稿締切日：平成19年2月1日

（採択された講演者には，所定の書式に従って作成した原稿を，平成19年2月1日迄に提出していただきます．提出いただいた原稿は，溶接学会全国大会講演概要集No.80に掲載致します．なお，講演時間は，1件約15分～30分程度を予定しています．原稿作成方法などの詳細は座長より連絡致します．）

第34回溶接学会東部支部実用溶接講座(見学会&講習会)

IIW 資格制度特認コース：J-ANB 認定講座
ISO14731/WES8103 溶接管理技術者資格制度：
再認証審査小委員会認定講座

「自動車製造工場見学と最近の自動車車体材料と接合技術」

主催：(社)溶接学会 東部支部

共催：(社)溶接学会 東部支部-神奈川県

協賛：日本機械学会，日本船舶海洋工学会，日本金属学会，日本材料学会，日本ロボット学会，日本鉄鋼協会，日本鋼構造協会，ステンレス協会，軽金属溶接構造協会，日本非破壊検査協会，腐食防食協会，日本溶接協会，日本溶接技術センター，日本工業出版，産報出版 (順不同，含依頼中)

趣旨：

様々な技術の粋が集められて製造が行われている自動車工業は，日本の製造業の先導的役割を果たしていることは言うまでもありません。今後の自動車における重要な課題は一層の軽量化・高性能化などであり，特に車体製造の生産技術においては品質確保およびコスト低減などの点から溶接・接合技術がキー・テクノロジーの一つであると言えます。

本講座では，自動車製造の工場見学を行うとともに，車体製造に用いられる金属材料と溶接・接合方法などに関する内外の最新技術動向を紹介し，平易に解説を行います。

溶接に関係する方々はもとより，自動車製造工場を見学できる機会としても，幅広く多くの方のご参加をお願い申し上げます。

開催日時：平成18年11月7日(火) 10:00～17:00

※受付開始 9:30～

開催場所：日産自動車株式会社 追浜工場

ゲストホール・中ホール

(神奈川県横須賀市夏島町1 Tel: 046-867-5013)

交通：京浜急行・追浜駅より徒歩約20分

(別途地図参照)

定員：80名(先着受付順，定員に達した時点で締め切らせて頂きます)

参加費：8,000円(学生：2,000円)(テキスト代を含む)

※1) 当日，昼食に弁当を用意致します(代金別：1,000円)。同時にお申込み下さい。

※2) 参加費，弁当代ともに当日受付。釣銭が不要なようにご協力願います。

申込締切：平成18年10月27日(金)

申込方法：必要事項(末尾の申込書式参照)を記入の上，電子メール，またはFAX，郵送で申し込み下さい。

申込先：東京大学大学院工学系研究科

技術経営戦略学専攻 武市祥司

e-mail: jwseast@triton.naoe.t.u-tokyo.ac.jp

Fax: 03-3816-2536 Tel: 03-5841-2771

受講ポイント：

①IIW 溶接技術者資格 特認コース履修ポイント
計2.6ポイント

モジュール1：1.0ポイント

(M1.3：0.1，M1.4：0.2，M1.7：0.7)，

モジュール2：0.4ポイント(M2.1：0.2，M2.6：0.2)，

モジュール4：1.2ポイント(M4.1：0.1，M4.2：0.4，

M4.3：0.1，M4.4：0.2，M4.6：0.3，M4.7：0.1)

②ISO14731/WES8103 溶接管理技術者
再認証クレジットポイント：6ポイント

プログラム：

①10:00～10:05 開会の挨拶(東部支部支部長)

②10:05～12:00 日産自動車/追浜工場

見学会(日産自動車)

10:05～10:35 追浜工場および自動車製造工程の紹介

10:35～11:35 工場見学(60分)

11:35～12:00 見学後の質疑応答

※同業者の方には見学をお断りする場合があります。
あらかじめご了承願います。

③12:00～13:00 昼食(弁当)

参加申込時に弁当申込みもお願いします。

※付近の食堂利用は困難です。

④13:00～17:00 講演会「最近の自動車車体材料と接合技術」

13:00～13:50

「最新車体における鋼板の高張力化とアルミ化の現状とその接合技術」

日産自動車(株)テクニカルセンター 中西栄三郎氏

自動車の車体において軽量化の重要性は増しており，比較的安価な利点からは高張力鋼板が有望視されており，また，軽量という利点からはアルミ合金の利用が限定された的ではあるが広まりつつある。本講演では，車体メタルの変遷を概観するとともに，最新車体の状況を説明し，強度信頼性の観点からの接合についての留意点について述べる。

13:50～14:40

「欧州における自動車ボディへのレーザー溶接適用の現状」
トルンプ(株) 門屋 輝慶氏

自動車製造では，切断・溶接・ろう付・表面改質などの工程にレーザーが採用されている。特に溶接工程では，従来は抵抗スポットで行われていたボディの溶接や，電子ビーム溶接で行われていたトランスミッションの溶接にもレーザー溶接が使用され始めている。欧州では，レーザー溶接の導入に積極的で，ボディに使用される亜鉛めっき鋼板のみならず，アルミニウムや機械構造用鋼などの材料も適用対象とされており，本講演ではこれらの実用例を紹介する。

14:40～15:00 休憩

15:00～15:50 「自動車用高張力鋼板の接合技術」

住友金属工業(株)総合技術研究所 泰山 正則氏

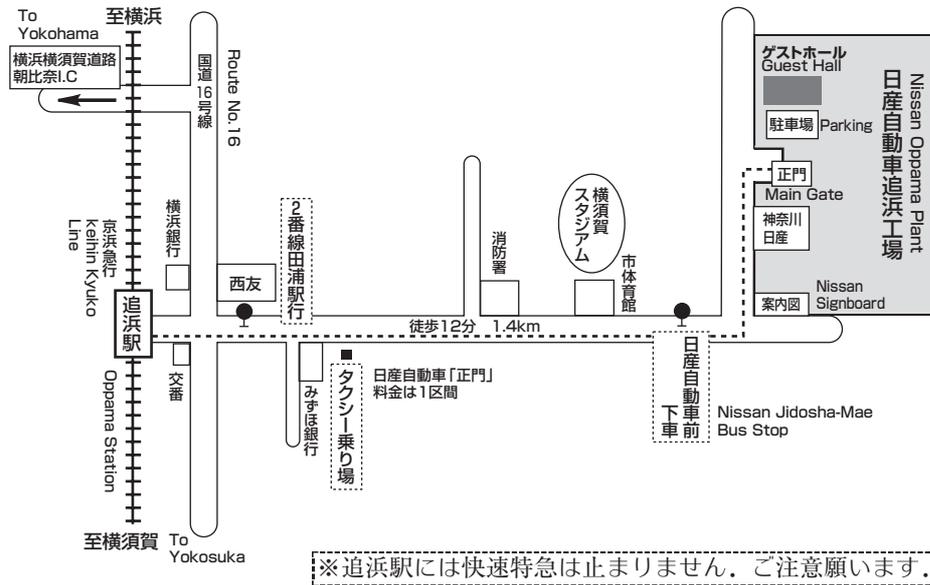
自動車車体の軽量化・高剛性化などの性能の向上を目指し、高張力鋼板が車体へ適用される度合いが高まっている。本講演では、主として薄鋼板に適用されるスポット溶接とレーザ溶接を取り上げ、高張力鋼板適用時の特徴及び溶接部の特性について紹介する。

15:50-16:40 「アルミと鋼との異種金属接合技術」
 (株) 神戸製鋼所 アルミ・銅カンパニー 技術部
 笹部 誠二氏

自動車において要求される特性やコストなどを考慮した軽量化の実現のためには、軽量材料であるアルミを中心とする金属材料を組み合わせる適材適所に適用することが必要である。本講演では、この適材適所化を可能とする異種金属接合技術の最近の適用状況や開発状況について紹介する。

16:40-16:55 質疑応答
 ⑤16:55~17:00 閉会の挨拶

■開催場所（日産自動車株式会社 追浜工場）案内図



■申込書式

以下の空欄に記入の上、電子メール、または FAXで申し込み下さい。

申込先：東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 武市 祥司 宛
 e-mail: jwseast@triton.naoe.t.u-tokyo.ac.jp
 Fax: 03-3816-2536

第34回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講習会）申込書

（申込日： 月 日）

- 受講者名（漢字&ふりがな）： _____
 - 会員資格（○をつけて下さい）： _____ ・正会員 ・賛助会員 ・学生会員 ・非会員
 - 昼食弁当申込（参加費の他に1,000円必要、○をつけて下さい）： _____ ・要 _____ ・不要
- 付近の食堂などの利用は困難です。終日参加者は申込みをお勧めします。
- 勤務先/会社名・所属部課名 または通学先/大学名・所属学部学科名

 - 勤務先/通学先の連絡先
 - ・住所： _____
 - ・E-mail： _____ 電話： _____ FAX： _____

平成18年度開催予定セミナー・講演会のご案内

日程表に示されている講演会・セミナー・シンポジウムなどに出席すると、IIW 特認コース履修ポイントならびに WES 資格更新クレジットポイントが付与されます。

なお、IIW 履修ポイントについては、モジュール1：11ポイント以上、モジュール2：11ポイント以上、モジュール3：10ポイント以上、モジュール4：11ポイント以上になると、IWE 受験資格が得られます。また、5年間で WES 更新ポイントを36ポイントを取得すると、更新資格を得ることができます。

平成18年度開催予定セミナー・講演会 (2006.9.4 現在, 開催済も含む)		
	溶 接 学 会	
	本 部	支 部
平成18年4月		
5月		
6月	溶接技術基礎講座 東京・参加者：29名 IIW 9.7pt (M1:2pt, M2:2.7pt, M3:1.3pt, M4:3.7pt) WES 17pt	
7月	溶接工学夏季大学 (7/18, 19) 大阪・参加者：58名 (7/12の時点) IIW 8pt (M1:2pt, M2:2pt, M3:2pt, M4:2pt) WES 15pt	【東北支部】第18回溶接・接合研究会 山形・参加者：43名 IIW：1.4pt (M1:0.4, M2:0.7, M3:0.2, M4:0.1) WES 3pt
8月		【東北支部】夏季技術セミナー 「溶接・接合技術の最前線」 参加者： IIW 3.7pt (M1:1.5, M2:1.8, M3:0.2, M4:0.2) WES 10pt
9月		【中国支部】第3回学修会 (9/14, 15) 宇部・参加者： IIW 履修ポイント： 5.1pt (M1:1.2, M2:1.5, M3:1.2, M4:1.2) WES クレジットポイント：13pt 【北海道支部】技術セッション 「溶接関連諸規格・基準と技術管理」(9/21) 札幌・参加者： IIW 1.6pt (M1:0.2, M2:0.2, M3:0.2, M4:1) WES 4pt 【北海道支部】ワークショップ 「溶接における技術の伝承」(9/20) 札幌・参加者： WES 4pt 【九州支部】溶接設計講座 (9/25-29：5日間) 福岡・参加者： IIW 17.1pt (M1:1.8, M2:5.4, M3:4.5, M4:5.4) WES 36pt
10月		
11月		【九州支部】ものづくり実習・トラブル処理講座 (11/1-4：4日間) 福岡・参加者： IIW 9.3pt (M1:2, M2:0.5, M3:2, M4:8) WES 35pt 【東部支部】第34回実用講座 (11/7) 横浜・参加者： IIW 2.6pt (M1:1.0, M2:0.4, M4:1.2) WES 6pt